

アシタのたかはま研究所からの研究レポート⑤

『アシタのたかはま研究所からの研究レポート』では、さまざまなデータから高浜市の現状や将来の姿についてお伝えしていきます。

高浜市の強み!「大家族たかはま」を取り巻く環境

高浜市では「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を目ざすまちの将来像として掲げ、市民のみなさんといっしょになってまちづくりに取り組み、人と人とのつながりを育てています。では、高浜市が培ってきた強み「大家族のつながり」はどうなっていくのでしょうか。

20年後も続くまちづくりに必要なモノは？
変化するツナガル方法

町内会・まち協

町内会の平均加入率は、9年間で約6%の低下（世帯増加率が高いほど加入率が低くなる）。20年後のまち協の活動の中心は？次なるまちづくりの担い手確保が急務。

市民の意識

居住年数が長いほど地域活動への参加意識や地域への愛着は高まる。転入・転出の約6割を占める20～39歳のまちづくりへの意識の高まりが今後は必要不可欠。

情報通信の進化

会話は、対面から仮想空間へ。スマートフォンやSNSの利用率は、20代で90%以上、50代でも2人に1人は利用しており、利用率は年々増加傾向にある。

※平成27年5月 総務省 情報通信政策研究所「平成26年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より

市民の意識

	高浜市に住み続けたいと…		
	思う	思わない	
地域活動に参加したことが…	ある	87.9%	12.1%
	ない	78.8%	21.2%

平成27年度市民意識調査を分析した結果、「高浜市への愛着」と「高浜市に住み続けたい」という意識が密接に関係していることがわかりました。

では、「高浜市に愛着がある」人は、何が充実していれば、日常に「心地よさ」を感じるのでしょうか。

	高浜市に住み続けたいと…		
	思う	思わない	
高浜市に愛着が…	ある	97.1%	2.9%
	ない	53.1%	46.9%

《愛着がある》 ※全12項目

- 第1位 まちに犯罪などがなく安全であること
- 第2位 自分の体が健康であること
- ：
- 第4位 人と人とのつながりがあること

	高浜市に愛着が…		
	ある	ない	
地域活動に参加したことが…	ある	76.6%	23.4%
	ない	63.1%	36.9%

《愛着がない》

- 第1位 まちに犯罪などがなく安全であること
- 第2位 生活に余裕があること
- ：
- 第7位 人と人とのつながりがあること

《アシタのたかはま研究所 研究レポートは、市公式ホームページで公開しています。》

問合せ先 アシタのたかはま研究所（国総合政策グループ内） ☎52-1111（内線332）